

公開講座「冬の子どもキャンプ教室」に関わる教員・学生の新型コロナウイルス感染症対応

信州大学教育学部 平野吉直
瀧 直也

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公開講座「冬の子どもキャンプ教室」に関わる教員及び学生（以下、スタッフ）については、以下の点に注意し、健康管理に努めて参ります。

1. 日常生活の過ごし方

- (1) 少しでも風邪症状や味覚・嗅覚の異常があれば、他者との接触を避け自宅で静養する。
学生においては、このような症状があるときは、アルバイトも絶対に行かない。
- (2) 毎日の検温を含め体調管理に努め、健康状態やその日の行動を記録する。
- (3) 家から出る時はマスクを着用し、マスクなしに会話をしない。
- (4) 家から出る時は、意識して人との接触を減らし、人との距離（2m以上）をとるようにする。
- (5) 換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に絶対に集まらない。
カラオケ、ライブハウス、居酒屋、アパート、下宿先などの場所を問わず、換気の悪い空間に人が集まって、大きな声を出したり、歌ったり、呼気が激しくなる運動をしたり、飲食をしたりする場所で過ごすことは、厳に慎む。
- (6) 家族以外の人と多人数又は長時間にわたって会食することを避け、少人数、短時間の会食であっても体調が悪い人は参加しない、させない。また、箸やコップの使いまわしはせず、会話をするときにはなるべくマスクを着用する。
- (7) 学外の多人数との接触の機会がある場合は、2週間前から感染蔓延地域との往来を避け、家族以外の人との会食を避ける。
- (8) 建物に出入りする時、調理や食事をする前、家に帰った時などは、必ず石鹸で手を洗うかアルコールで手指を消毒し、常に咳エチケットを守る。

2. キャンプへの参加

- (1) スタッフは、原則キャンプ2週間前から就労・就学上拠点となる住居に滞在し、健康観察と感染予防に努める。
- (2) キャンプ2週間前以内に濃厚接触等の可能性が無く、発熱や咳、だるさ（倦怠感）、頭痛、腹痛（下痢）、体調不良、呼吸困難、嗅覚・味覚異常等の諸症状が無いスタッフのみ参加できる。
- (3) 緊急事態宣言等が発令されている対象地域に居住しているスタッフは、参加できない。
- (4) キャンプ初日の朝、スタッフ全員の検温を行い、健康チェックカードに記入し管理する。

3. キャンプ中の対応

- (1) 移動時や室内はマスクを着用し、屋外での活動時は防寒具等を着用し飛沫対策を行う。
- (2) こまめに手洗い・うがいを励行する。
- (3) 手洗い後のタオルやハンカチはシェアしない。
- (4) 近距離での会話や発声、高唱は避ける。
- (5) 身体的距離を基本的に2m（短時間でも最低1m）は保つようにする。
- (6) 活動場所ではスペースを広く使用して活動する。